日本科学者会議大阪支部

『北天満サイエンスカフェ』がスタート

大阪支部は、事務所のある北区北天満の黒崎東商店会と協力して、サイエンスカフェを開設する準備を進めてきましたが、いよいよ第１回のサイエンスカフェを開くことになりました。

記念すべき第１回は 10 月 24 日（土）、中村寿子さんが「水道水は飲んだらあかんの？」と題して話題提供、北天満地区のお祭り「北天満　秋のコラボレーション」と同時開催となります。お祭りでは、地域の幼稚園のファッションショーや夜店もあります。

会員の皆様、どうぞお越し下さい。

11 月以降は、第 2、第 4 土曜日に継続して開催の予定。テーマや話題提供をしていただける方を募集しています。問い合わせは、大阪支部まで。

【サイエンス・カフェとは】

サイエンスカフェは 1997 年頃にイギリスやフランスで生まれたものです。それまでは市民が科学技術について考え、情報を得られる場所は限られていました。本を読むとか講演会やシンポジウムに参加する、あるいは科学館のような専門施設に行く。それぐらいしか一般の市民が科学技術を考える機会はありませんでした。

しかし講演会やシンポジウムでは、科学者が一方的に情報を提供し、市民はそれを聞くだけになりがちです。そこでカフェとかバーなどを会場にして研究者を呼び、科学者が取り組んでいる研究内容や科学や技術をめぐる問題について参加者を交えて対話する試みが始まりました。科学者と市民とのコミュニケーションに重点をおいたイベントがサイエンスカフェなのです。

講演やシンポジウムなどが開催される一般の会場では、どうしてもノートをとりながら「話を聞く」ことが重点になってしまいます。しかしカフェやバーは一方的に誰かの話を聞く場ではないですね。誰もが気軽に何かしゃべりたいと思う。カフェやバーで科学や技術をめぐる問題についてざっくばらんに研究者と市民が対等にしゃべる場。それがサイエンスカフェなのです。大学や研究所のような場所とは違って、アカデミックな文脈から離れたところで、科学技術をめぐる問題について話し合うことが重要なのです。

（春日匠さん・中村征樹さん（大阪大）の解説より）

第１回　北天満サイエンスカフェ
「水道水は飲んだらあかんの？―あなたは水道水派？ミネラルウォーター派？」

日時：2009 年 10 月 24 日（土）　14 時～16 時
話題提供：中村寿子さん（日本科学者会議大阪支部幹事）
場所：黒崎東商店街（中崎町 1 番出口）

日本科学者会議大阪支部　事務局
住所　〒531-0074 大阪市北区本庄東 1-6-21 大山第 2 ビル 4F
TEL& FAX　06-6373-0051
メールアドレス　**jsaosk** アットマーク **yahoo.co.jp**
ホームページ　**http://www.geocities.jp/jsaosk/**